

地方議会の挑戦

政策サイクル を意識した 議会改革



地方自治のしくみ

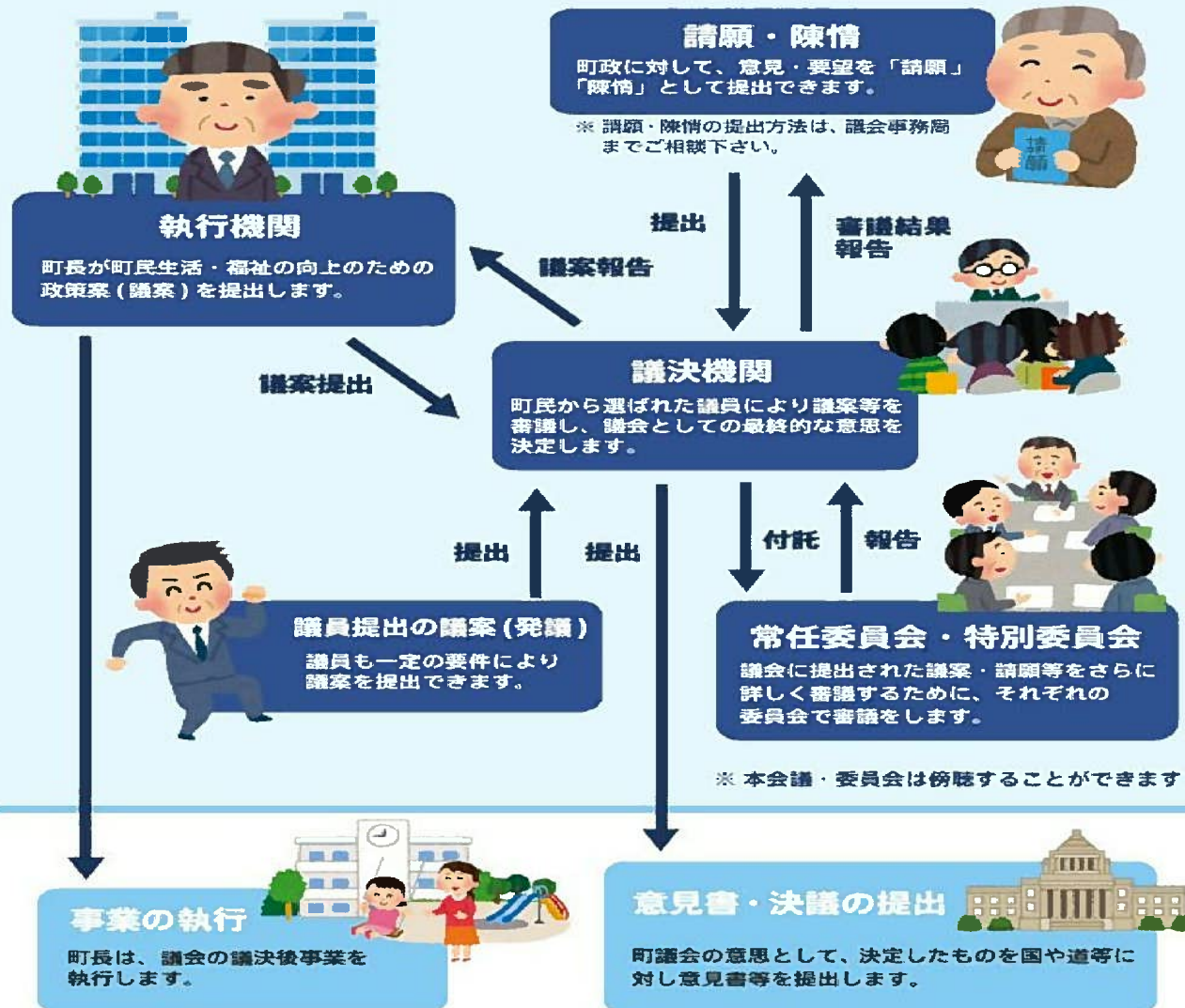


議会とは

議会の基本的な役割と機能について説明します。

町議会のしくみ

議会は、町長が招集して開かれます。
定例会は、3月、6月、9月、12月に開かれ、
臨時会は、必要に応じて開かれます。



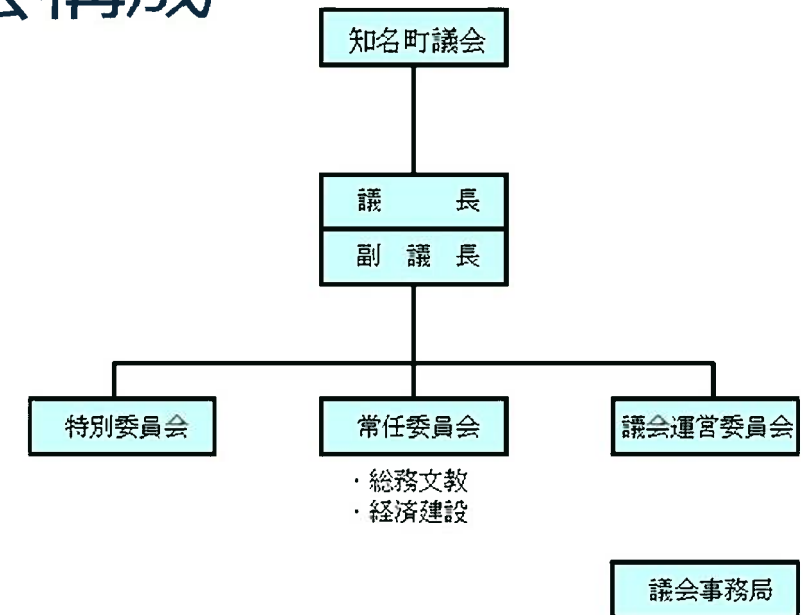
出典：倶知安町議会HP

議会 = 合議制の 議決機関

- 様々な背景や価値観を持つ議員が、地域住民の幅広いニーズや意見を持ち寄り、**議員間で討議**することで、一人の意見では見過ごされがちな視点や問題点に適切に対応することができます。
- 複数の議員が参加することで、一部の利益団体や個人の影響が過度に強くなることを防ぎ、**公正で透明**な意思決定を確保するための重要な手段となります。
- 様々な分野の専門知識や経験を持つ議員が集まっていることから、合議制を通じてこれらの**知識や経験**が政策立案や問題解決に繋がります。

知名町議会 議会構成

役職名	氏名・よみがな	所属委員会	所属政党	当選回数
議長	福井源乃介 ふくい げんのすけ	●総務文教	無所属	4
副議長	外山 利章 とやま としあき	◎経済建設	無所属	2
常任委員長	根釜昭一郎 ねがま しょういちろう	●総務文教	無所属	2
常任委員長	新山 直樹 にいやま なおき	◎経済建設	無所属	2
副委員長	城村 誠 じょうむら まこと	●総務文教	無所属	1
副委員長	川畑 光男 かわばた みつお	◎経済建設	無所属	1
監査委員	今井 吉男 いまい よしお	◎経済建設	無所属	6
議員	福川 勝久 ふくがわ かつひさ	●総務文教	無所属	1
議員	奥山 雅貴 おくやま まさき	●総務文教	無所属	1
議員	窪田 仁 くぼた ひとし	◎経済建設	無所属	1
議員	西 文男 にし ふみお	●総務文教	無所属	2
議員	宗村 勝 そうむら まさる	◎経済建設	無所属	2



知名町議会の構成メンバーと組織図を紹介します。

知名町議会が
議会改革に取り組む
きっかけ

議会改革に取り組むきっかけ

- 過去 2 回の改選により、議員経験の少ない議員が多数を占める
- コロナ禍で議員研修の中止や議員間の話し合いの場が失われる



**合議体の議会としての
機能低下が心配された**



議会自らが変革し、一体感をもって町政の課題解決に取り組むため、議会改革の推進を全議員で確認

地方議会評価 モデル導入へ

- 議会改革を進めるためには、まず議会の立ち位置を明確にすることが必要。
- そのツールとして公益財団法人日本生産性本部の地方議会プロジェクト「地方議会議会評価モデル」の活用を検討

地方議会評価モデル」説明会

～「議会の価値創造」を見える化するには～

議会の「状態」を多角的に診断する「地方議会評価モデル」と議会改革の方向性を導き出す「議会プロフィール」。議会改革に役立つ2つのツールの具体的活用方法をご紹介します、議会の価値創造である「住民福祉の向上」を「見える化」するために、必要なプロセスをお伝えします。

2021年

7/29

(木)15時-16時半

参加
無料

開催形式：Zoom配信

お申込み：WEB受付

下記URLか右のQRコードよりサイトに
アクセスの上、お申込みください



<https://www.jpc-net.jp/seminar/detail/005329.html>

市民の声を
もっと
反映したい

議会活動の
質を向上
させたい

チーム議会へ
成長したい

説明① 15:05-15:20

議会評価の現状と課題、これから

日本生産性本部 地方議会改革プロジェクト
担当課長 鎌田 朋宏

説明② 15:20-15:40

「地方議会評価モデル」と
「議会プロフィール」を使いこなすには

日本生産性本部 地方議会改革プロジェクト
研究員 田中 優磨

ミニワーク 15:40-16:20

議会の「状態」を診断してみよう！

地方議会改革プロジェクト事務局

質疑応答 16:20-16:30

※内容・タイムスケジュールは予告なく変更になることがあります。

よりダウンロードできます。この機会にぜひご活用ください。(要ユーザ登録)

地方議会評価モデル（要約版）ワークシート

評価日： 令和 3 年 9 月 6 日

議会名： 知名町議会 氏名： 外山利彦

1. 確認結果

視点	確認項目	評価
視点1 戦略プラン	① 理想的な姿の構想：（理想となる論文・取組等） 議会基本条例前文に明記されているが共有しているとはいえない。	金 調
	② 政策課題の明確化：（理想となる論文・取組等） 議員各自の課題を議会全体の課題として共有できていないのでは。	金 調
	③ 理想的な姿の実現：（理想となる論文・取組等） 議会改革の取り組みが始まっているが断片的なものとなっている。	金 調
視点2 政策サイクル	④ 住民との対話：議会基本条例第4条 議員と語る会の開催が議会基本条例に明記されている。しかし、コロナで昨年、今年と開催されていない。	金 調
	⑤ 議員間の討議：議会基本条例第9条 議員間で討議する機会、場が少ない。	金 調
	⑥ 政策立案・議案審査：（理想となる論文・取組等） 議員独自の政策立案・議案審査となっており議会全体での視点までは至っていない。	金 調
	⑦ 総合計画・政策成果・決算の連動：議会基本条例第5条 その意識に達していないのでは。議会として今後の課題。	金 調
視点3 条件整備	⑧ 能力向上：議会基本条例第17条（理想となる論文・取組等）	金 調
	⑨ 体制づくりと活動整備：（理想となる論文・取組等） 議会改革、オンラインによる意見交換、議案説明会など	金 調
	⑩ 内部資源と外部連携の活用：	金 調
視点4 信頼と責任	⑪ 法令等遵守：議会基本条例第21条・知名町議会議員政治倫理条例	金 調
	⑫ 情報公開と説明責任：議会基本条例第4条・第18条 議会だより、FBでの情報発信に努めているが不十分	金 調
	⑬ 危機管理：新型コロナウイルスに対する議会対応などは申し合わせ	金 調
	議会版BCPの作成は急務	金 調

地方議会評価モデル(要約版)

議会運営の現状を確認する（＝議会「評価」）

➤ 前提とする考え方を共有した上で、現状に対する共通認識を形成していく。



ステップ1 各視点・項目の内容を確認し、**評価の目線を共有**



ステップ2 「**認識**」「**方法**」「**結果**」の3つの観点から個人評価



ステップ3 現状の「**成熟度**」を、評価者間の**対話**によって確認

議会評価モデルで洗い出された

知名町議会の課題

+ ① 政策課題の明確化

- + * 議会として取り組むべき議会改革、政策立案のテーマが明確化されていない

+ ② 内部資源と外部連携の活用

- + * 議会内の資源や外部からの情報や知見の活用がなされていない

+ ③ 総合計画・政策成果・決算の連動

- + * 総合計画に基づく行政運営のチェックが不足している

+ ④ 政策立案・議案審議

- + * 議会ならではの視点を活かした政策立案や議案審査が行われていない

議員の 自由記述より

今後の改革に向けて必要と思う点は？

- ・**議員間の対話が必要**だと強く感じた。**チーム議会**として取り組むためにも、機会創出が第一だと思う。
- ・政策提言を一議員で留めるのではなく、**全体で共有し、対話することで政策提案まで発展**させていきたい。
- ・知名町議会が**一丸となって取り組む**事が必要
- ・意見の相違を認め、**合意形成できる議会**になれば。

これまでの 議会改革

- ①議会基本条例の制定(平成25年)
- ②YouTubeによる議会中継、録画配信
- ③議会だよりの発行
- ④「議員と語る会」の年一回の開催
- ⑤FBによる議会活動の発信
- ⑥議会議員政治倫理条例の制定(平成30年)
- ⑦グループLINEによる意見交換会の開催
(クラスター発生時の緊急対応)
- ⑧議会勉強会の開催(議会開会月以外の月)
- ⑨議案説明会の開催(議会に提出する議案の説明)

しかし、議会改革は新たなステージへ

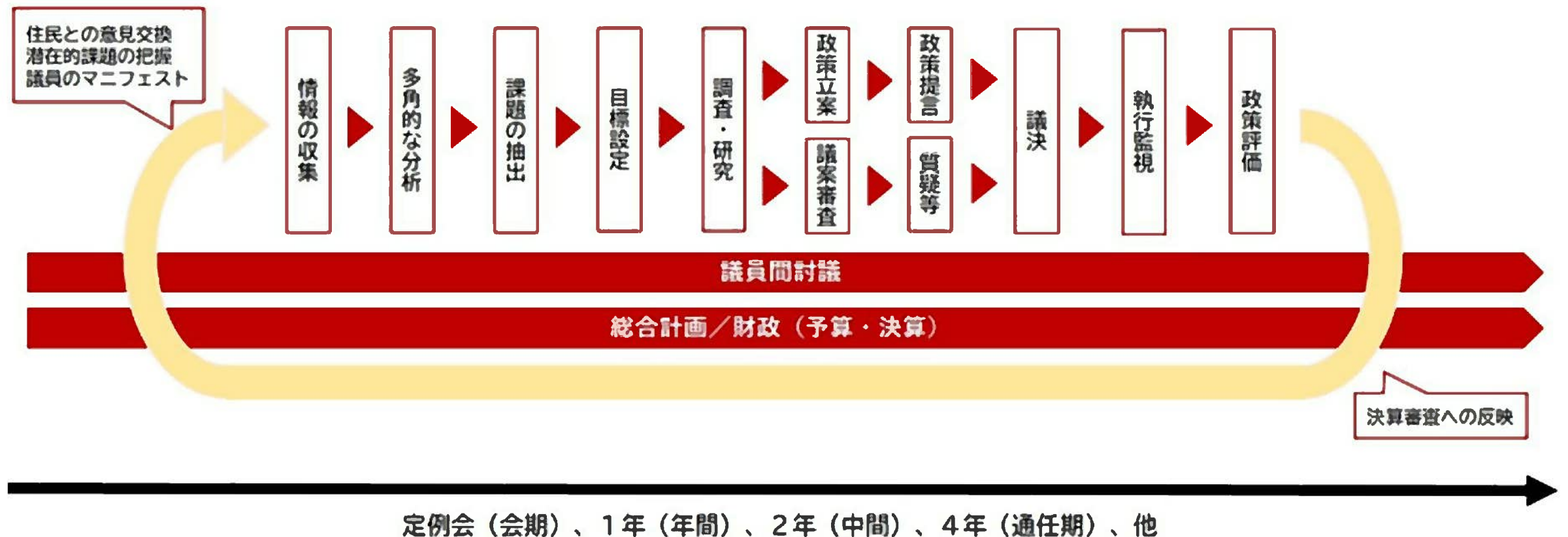
議会改革の段階	議会改革の方向	手法・住民との関係
議会活性化	一問一答方式、対面式議場、委員会の公開(形式的)	議会に対する住民不信の蔓延
第1ステージ	住民と歩むための新たな議会運営(ルール制定)(形式的)	議会基本条例 議会の見える化を進める 住民との接点を多くする
第2ステージ	住民福祉の向上に繋げる(実質的)	議会からの政策サイクルの構築と作動、豊富化 議会に対する住民の信頼作り



議会改革の第2ステージへ

政策サイクルを意識した議会を
目指して

議会からの政策サイクル



- 政策サイクルとは議会が住民意見を吸い上げ、議員間の討議を通じ、時には執行部との機関競争も行いながら、議案審査・政策立案に効果的に反映させるための議会活動の基本的なプロセスです。

「議会からの政策サイクル」と目指す議会像を構想



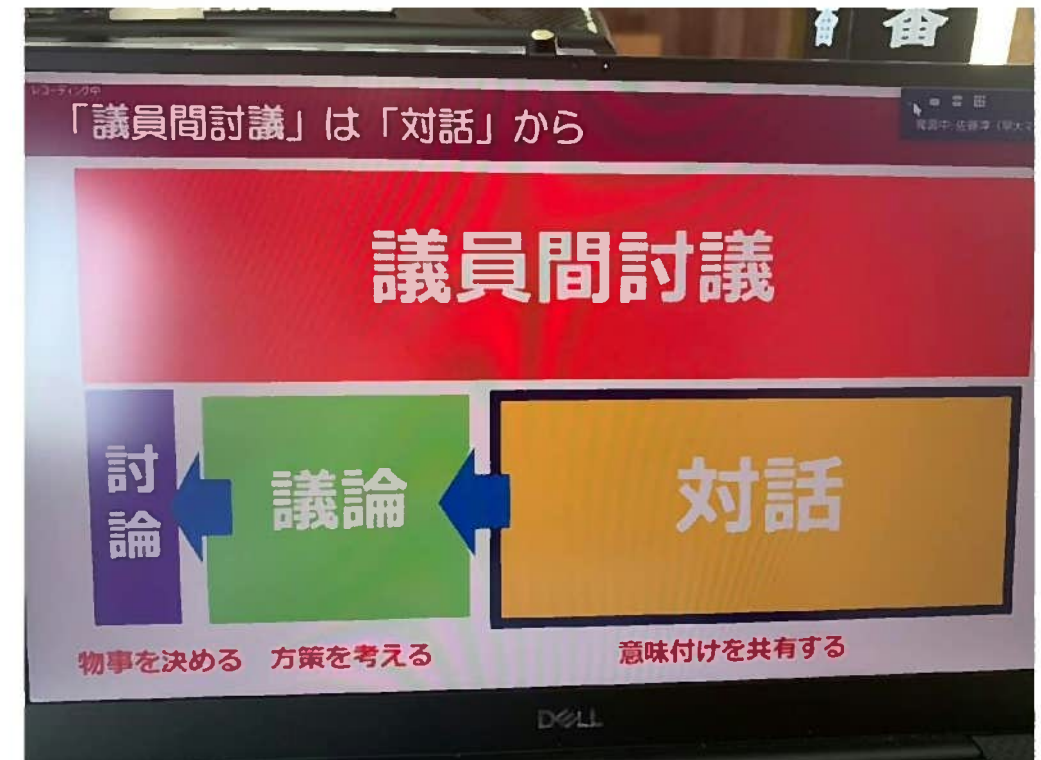
(1)「理想的な姿」が求められる背景

➤ 「チーム議会」で共有できる改革の方向性が必要

- ・議員は従来、個人として選挙で当選して議員になることから議員活動は熱心にするが、**組織的に議会活動することはほとんどなかった**
- ・近年、議長を中心として議会事務局も参加した「チーム議会」としての活動が増えてきた
- ・従来の執行権に対する監視機能だけではなく、議事を通じた決定機能と政策提案機能、それを補完する議員提案の条例制定など**議会全体で取り組み、二元代表機能を発揮し始めている**

課題解決に向けた勉強会

対話(議員間討議)の
演習と評価モデル再検
証



知名町議会 議員研修会

「議会基本条例」の原点に 立ち戻ろう

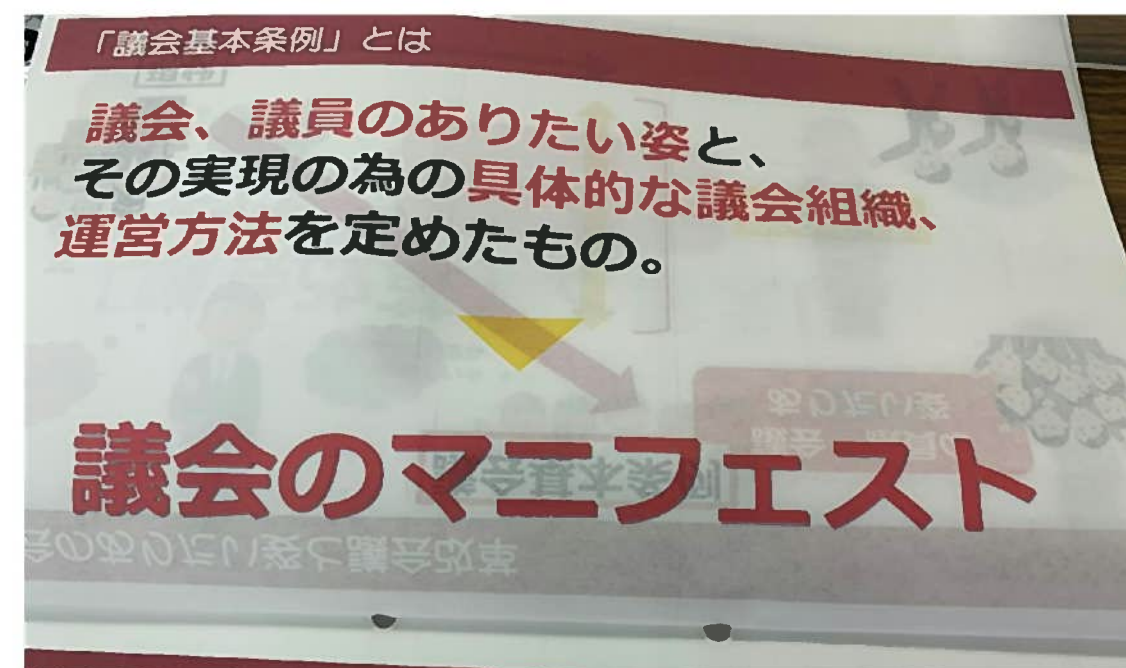


2022.05.27.

青森大学 社会学部 教授

早稲田大学マニフェスト研究所 招聘研究員

佐藤 淳



継続的に議会改革を推進

議会改革推進会議の設置（2022.4）

知名町議会基本条例

第7章 議会改革の推進

（議会改革推進会議）

第11条 議会は、議会改革に継続的に取り組むため、議員で構成する**議会改革推進会議を設置する。**

2 議会は、必要があると認めるときは、前項の議会改革推進会議に学識経験を有する者等を構成員として加えることができる。

（交流及び連携の推進）

第12条 議会は、他の自治体の議会との交流及び連携を推進するため、独自に又は共同して、地方分権の時代にふさわしい議会の在り方についての調査研究等を行うものとする。

**議員提案の議会基本条例で謳われながら、設置がなされていなかった
（条例違反）：平成25年制定**

議会改革推進会議キックオフ
研修会において

議会改革 の方向性 を決定

1. 町の課題解決に向けて

各常任委員会による町民起点とした
政策提言の取り組み

(政策サイクルの実現に向けた取り組み)

2. 議会内の課題解決に向けて

議会改革推進会議による議会運営の改善、
議員定数、報酬について検討

(議会運営、議会の在り方について検討)

1.政策提言 の取り組み

- 1.対象となる町民からの意見収集
- 2.関係団体、担当課との意見交換
- 3.政策課題設定
- 4.所管事務調査
- 5.政策提案に向けた議員間討議
- 6.政策提言書の作成
- 7.議会における決議



1.対象となる町民からの意見収集 ワールドカフェによる町民意見の収集

5. 町民の関心事項



➤ 本委員会の所管事項に関連すると思われるアクションプランへの町民の関心としては、

「21 次代を担う……推進」「15 稼げる地域をつくる……推進」等の割合が高いようで

関連する 常任委員会 総務文教 経済建設	第6次知名町総合振興計画における アクションプラン（行動方針）	回答結果		
		数	割合	順位
○	○	2	4.0%	8
○	○	1	2.0%	12
○	○	0	0.0%	16
○	○	2	4.0%	8
○	○	1	2.0%	12
○	○	2	4.0%	8
○	○	0	0.0%	16
○	○	1	2.0%	12
○	○	4	8.0%	3
○	○	3	6.0%	4
○	○	0	0.0%	16
○	○	3	6.0%	4
○	○	0	0.0%	16
○	○	0	0.0%	16
○	○	8	16.0%	2
○	○	3	6.0%	4
○	○	0	0.0%	16
○	○	2	4.0%	8
○	○	3	6.0%	4
○	○	0	0.0%	16
○	○	14	28.0%	1
○	○	1	2.0%	12
○	○	50	100.0%	—
合計		50	100.0%	—

公益財団法人日本生産性本部

Copyright © 2022 Japan Productivity Center. All Rights Reserved.

6



3. 政策課題の設定に向けた議員間討議

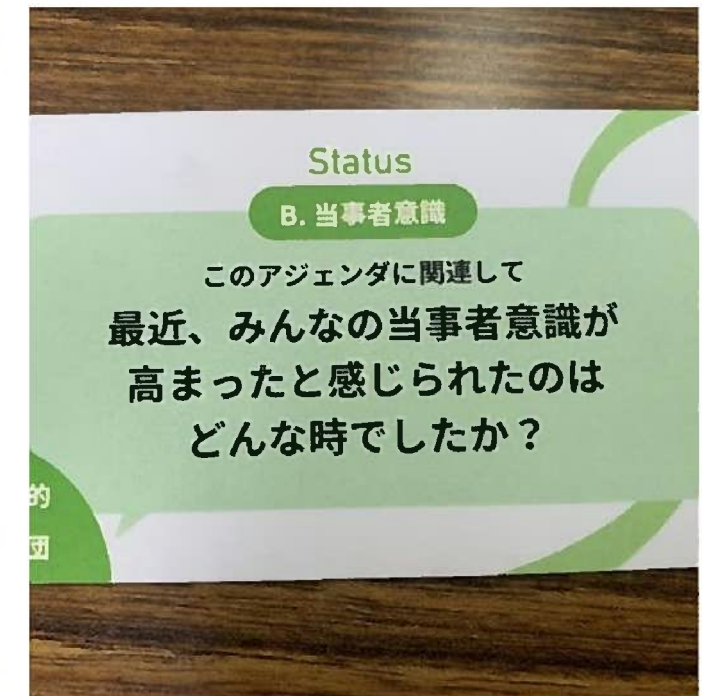
若手生産者との 意見交換会

就農時の課題や現在抱える
問題について意見交換



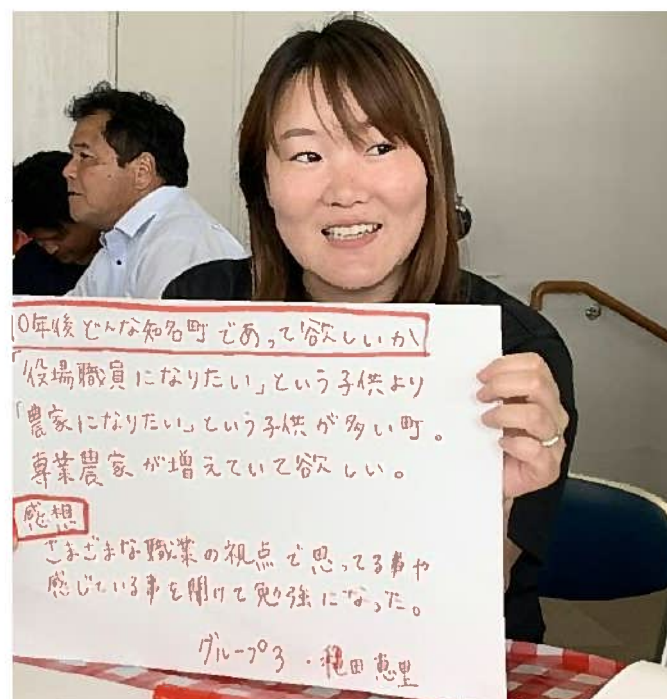
政策課題抽出のための ワールドカフェ ①

- ・ 経済建設分科会
- ・ 若手農業者、農業団体関係者
- ・ 総務文教分科会
- ・ 子育て代表、子ども園、子育て支援施設関係者



政策課題抽出 のためのワー ルドカフェ②

- 経済建設分科会
- 若手農業者、農業団体関係者
- 総務文教分科会
- 子育て代表、子ども園、子育て支援施設関係者



4.所管事務調査：新規就農支援の課題に対する調査(日置市、南さつま市、指宿市)



4. 課題解決に向けた追加所管事務調査 ： 鹿屋市



5.提言に 向けた 議員間討議

政策提言に向け、それぞれの案を
出し合い、議員間討議で内容を
深めていきます。



6.政策提言書の完成

任期最後となる6月議会で決議し、執行部へ提出しました。

4 提言

本常任委員会では、「新規就農者支援」をテーマに若手農業者や各関係機関と協議や意見交換会を開催し、課題の把握に努めてきました。その内容を踏まえ所管事務調査等を実施し、調査・検討してまいりました。今後、町が新規就農者支援をより推進するため、次のとおり提言いたします。

(1) 「農地」の確保について

新規就農者において農地の確保は重要な課題ですが、本町においては規模拡大に意欲的な生産者が多く、新規就農者の土地取得や貸与が困難となっています。新規就農者にとって計画的で効率的な土地利用ができ、安心して農業を営むことができる環境の整備に向け、以下の3点について提言します。

ア 地域計画の推進

(提案)

地域農業の将来について話し合う地域計画において、新規就農者へ優先的に農地の貸借・売買を斡旋する仕組みを構築する。

(方法)

- ① 字や基盤整備地区など一定の区域内で地域計画を策定し、区域内の遊休農地や貸借できる農地等を把握すること。
- ② 新規就農者へ優先的に農地の貸借や売買を行うための仕組みづくりに取り組む地区のサポートを行うこと。

イ 耕作者間連携による限りある農地の有効活用の促進

(提案)

さとうきびやばれいし農家と農産物生産農家との耕作者間の連携を促進し、土地の有効利用を図り、1圃場で2作づくりを推進する。

(方法)

- ① 新規就農者が必要とする農地の面積、場所などの調査を行うこと。
- ② 各振興会と協力し、交換可能な土地の確保、把握に努めること。
- ③ 耕作者連携等農家のニーズをマッチングさせる仕組みを仕組みを構築すること。

ウ 荒廃農地の農地化に対するサポート

(提案)

荒廃農地となっている土地を農地化するため、補助金活用と補助制度の新設及び農地確保に向けたサポートチームを設置する。

(方法)

- ① 荒廃農地解消の補助金活用について検討すること。
- ② 農業委員会や地域の代表者と連携し、地権者の確認や仲介等を行うサポートチーム体制を整えること。

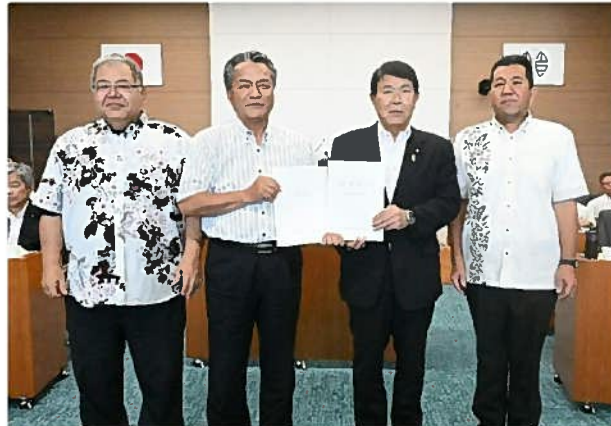
政策提言書
「新規就農者支援」

令和6年6月
知名町議会 経済建設常任委員会

知名町議会、初の政策提言

2024年6月20日

汗水良節
今日の出来



福井源乃介議員（中央左）から提言書を受け取った今井力夫町長（中央右）＝20日、知名町役場議会会場＝

未就学児 支援拡充と新規就労支援を

【汗水良節】知名町議会は20日、未就学児支援の充実と新規就業者への支援を求める政策提言を町へ提出した。民間事業所との連携推進による子育て支援体制の強化や、新規就業者が安心して職責を営むことができる環境づくりを訴えている。町議会による政策提言の提出は初めて。

町議会では、議会改革の一環として、町民ニーズに対応した政策提言活動に取り組んできた。

今回、未就学児支援と新規就業者確保に向けた取り組み強化の2テーマを政策課題に設定し、昨年7月から、議員1人ずつが担当される政策マラソン経済建設の各常任委員会対策を格別に行ってきた。



6 月議会にて決議後、執行部へ提出

議会運営の改善、
議員定数、報酬について
議会改革推進会議による議会改革

2.議会運営・ 定数・報酬 について

- 1.議員定数と報酬についての勉強会
- 2.地方議会成熟度評価モデルの実施
- 3.議会アドバイザーの委嘱
- 3.次期に向けた引き継ぎ事項の検討
- 4.議会改革推進会議報告書の作成

1.議員定数と報酬 についての勉強会

平成28年4月	始良市議会議員選挙（議員報酬改正）	24	303,000
令和 元年	始良市議会基本条例にて「議会改革推進会議」設置		
令和 4年4月	第3期議会改革推進会議で「議員定数と議員報酬について」を含めた8項目の課題を抽出し協議を開始 (12回の幹事会と10回の議会改革推進会議を実施)		

(現在の議会改革推進会議でとりまとめた議員定数と議員報酬の内容)

議員定数は20人、議員報酬は412,000円をもとに、令和8年4月に執行される次期選挙後からの適用に向けて協議を進める。

- 2 -



町村議会議員の議員報酬等のあり方
最終報告

平成31年3月

町村議会議員の議員報酬等のあり方検討委員会

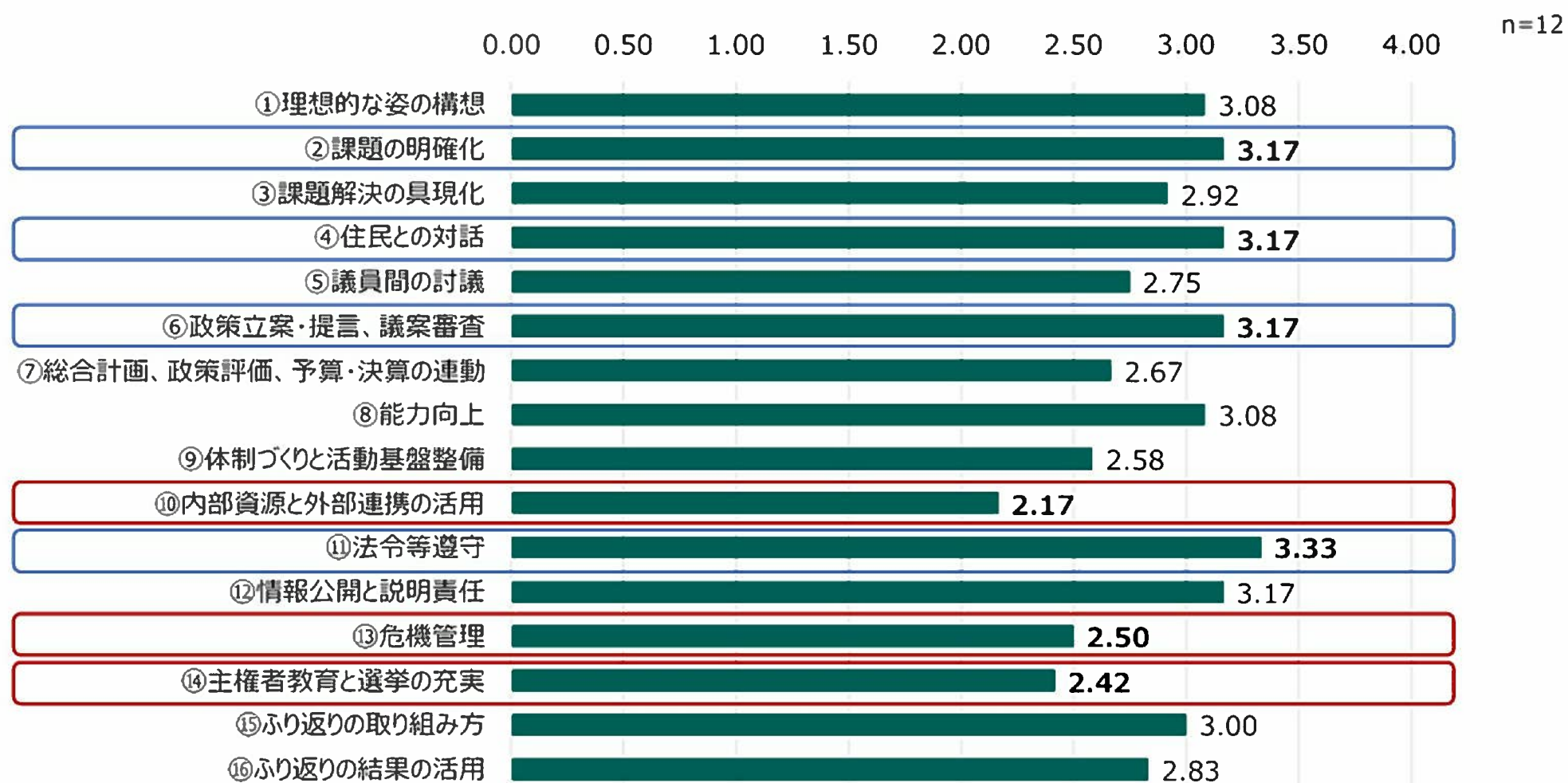
2. 議会評価モデル 実施、結果確認

2 回目の地方議会成熟度評価モデルを実施し、議会改革の
成果と意識の変化を確認します。



全体集計結果① 項目別の平均点数

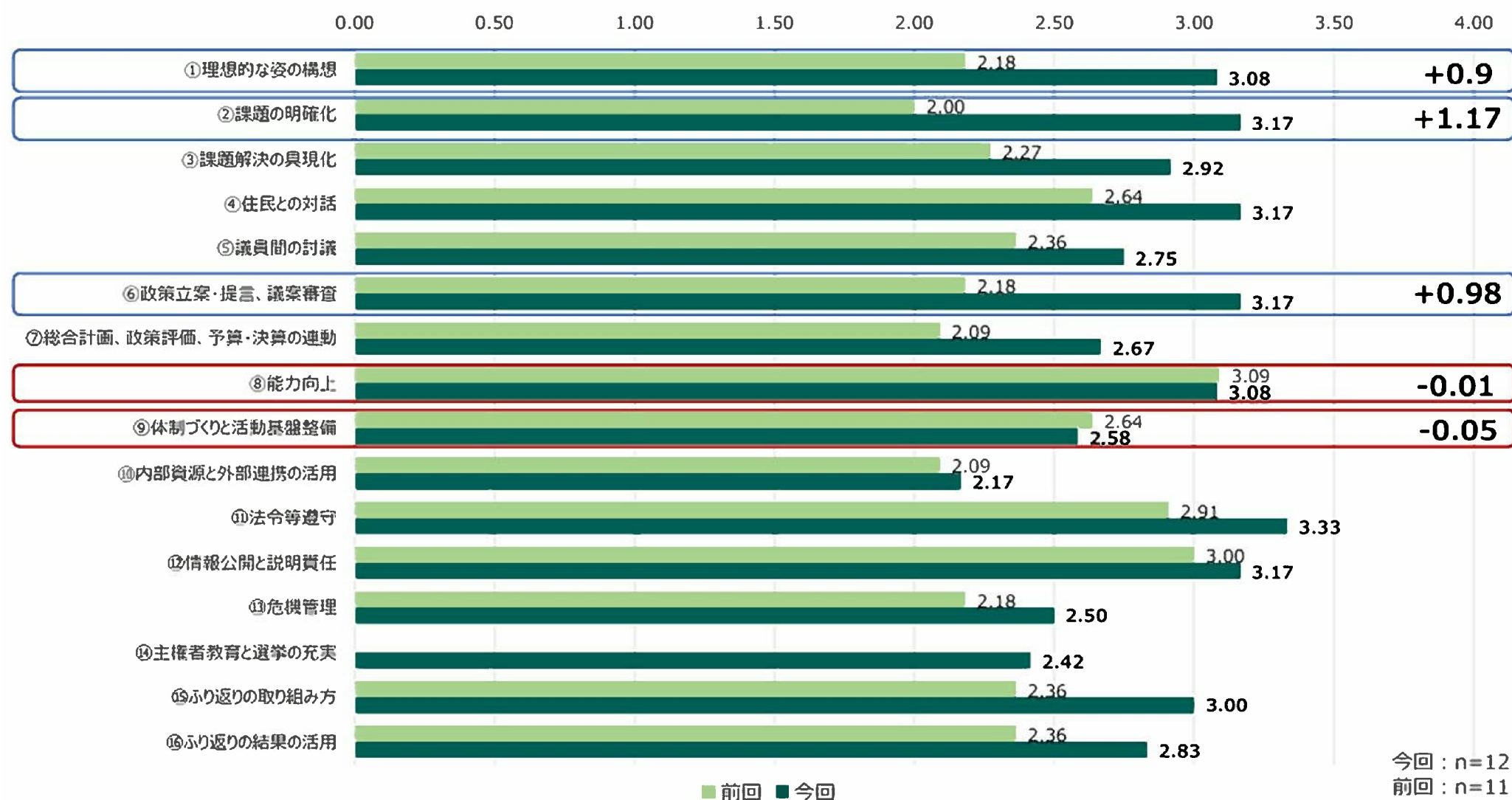
- 「⑪法令等遵守」が最も高く（3.33）、「②課題の明確化」・「④住民との対話」・「⑥政策立案・提言、議案審査」が同位で続いた（3.17）。
- 「⑩内部資源と外部連携の活用」が最も低く（2.17）、「⑭主権者教育と選挙の充実」（2.42）、「⑬危機管理」（2.5）と続いた。



◎を4点、○を3点、△を2点、－を1点、無回答を0点に点数化して集計した。

全体集計結果② 前回の結果との比較

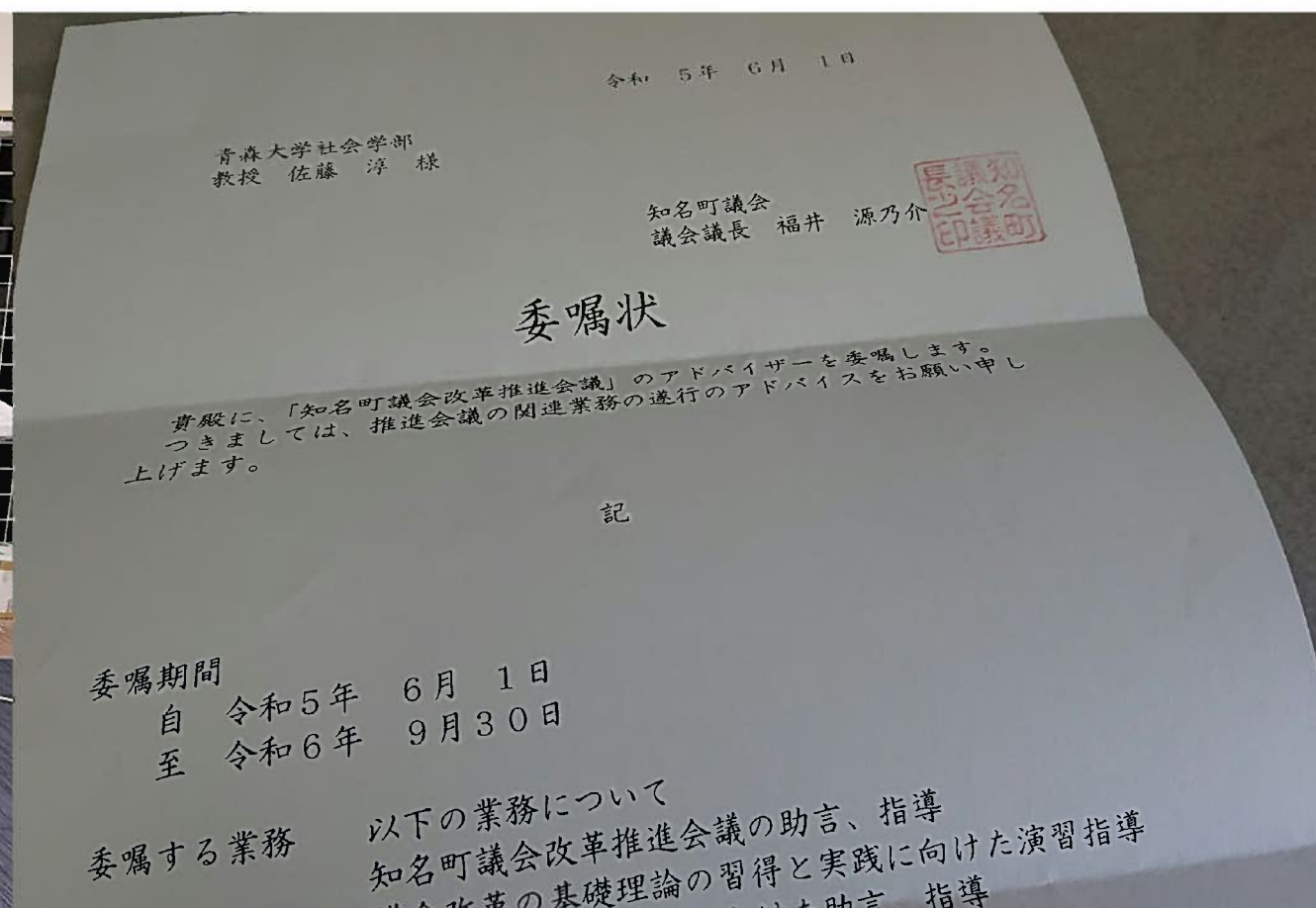
- 「⑧能力向上」(-0.01)、「⑨体制づくりと活動基盤整備」(-0.05)を除くすべての項目で前回の結果を上回る結果となった。



※前回の調査結果については、◎を4点、○を3点、△を2点、無回答を0点に点数化して集計した（－は選択肢としてしていないため点数化していない）。

議員の自由記述 から

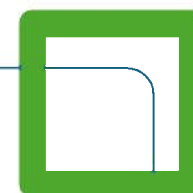
- 議会全体での活動が町民に見えるような形に近づいてきている。政策提言において国の施策に基づいた提言ではなく**本町独自の政策提言**ができるためにはどうすればいいのか考えていく必要がある。
- 評価モデル導入時より明らかに**レベルアップ**している。次任期でのさらなる改善も実現可能である。
- 議会改革、分科会など始めての取組であり、知名町議会の新しい体制が出来たと思う。**本来あるべき姿**なのかなと思う。議員の認識や議会活動の充実が行われた。
- **議会活動**という意識も生まれつつある
- 新しい議会を作るこの3年間の取組の中で、着実に議会活動の充実、改善が行われてきたと思います。今後は今回の議会評価モデルの結果を踏まえ、更なる議会活動の充実、発展に繋がるよう、改選後の議会に向けた申し送り、提言となる報告書を作成し、**議会改革が継続的な活動になる**ことを期待します。



議会アドバイザーの委嘱
(令和5年6月 青森大学社会学部 佐藤淳教授)

3.次期に向けた 引き継ぎ事項

- 1.議員定数・報酬について
- 2.議会改革の推進体制について
- 3.政策提言の実現にむけて
- 4.住民との対話をもとにした課題の把握について
- 5.政策サイクル実現に向けた議会運営について
- 6.能力向上に向けた取り組みについて
- 7.主権者意識の醸成に向けた取り組みについて
- 8.災害時における議会機能維持に向けて



4. 議会改革推進会議 報告書の作成

これまでの議会改革の取り組みの記録と
引き継ぐべき課題をまとめ、報告書を作成し
ました。

議会改革推進会議
報告書

令和6年6月
知名町議会改革推進会議

議会改革の これから

1. 新しい議会価値の創造:

- これまでの監視機能に加え、政策提案機能を強化し、議会自らが町の未来を切り拓く提案を積極的に行う。
- 議会評価モデルを活用し、常に自らの活動を見直し、改善を続ける。

2. 町民福祉の向上:

- 住民の声を直接反映する対話の機会を増やし、住民のニーズに応える政策を実現する。
- 町民の生活に直結する分野での政策提言を強化する。

3. 全議員が一丸となった取り組み:

- 議員間の協力と連携を強化し、個々の議員の意見や視点を尊重しつつ、議会改革の推進という共通の目標に向かって一致団結して取り組む。
- 研修や勉強会を通じて議員の知識とスキルを向上させ、議会全体のパフォーマンスを高める。

知名町議会が 目指す未来

- 第2ステージに入った議会改革をさらに推進し、「町民起点の政策課題の解決」という政策サイクルを意識した議会運営を行う。
- 新しい議会価値を創造しながら常に自ら変革することで、町民福祉の向上を実現する議会となる。

